

研究所を去るに当たって

理 事 長 細 村 迪 夫

私は、平成17年3月末日をもって、独立行政法人国立特殊教育総合研究所理事長を任期満了退職いたしました。平成13年4月に本研究所は、独立行政法人として再出発しましたが、その初代理事長として着任して4年間、その職務を全うすることができました。これも、ひとえに本研究所職員や運営委員会委員、文部科学省特別支援教育課、都道府県教育委員会等関係機関の皆様のご理解、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。



この4年間における最大の課題は、独立行政法人としての本研究所の使命をより効果的・効率的に果たす観点から、組織体制を見直すことでした。そのため、平成14年度から文部科学省特別支援教育課のご指導、ご支援の下に、組織体制の再編の作業に取り組みました。平成15年度中に、これまでの障害種別の研究部・研究室制を廃止し、企画部、教育支援研究部、教育研修情報部及び教育相談センターの業務・課題を重視した大きくりの4部門に再編するという研究所創設以来の抜本的な案を作成し、説明会を開催するなどして全職員の共通理解を図り、平成16年度から全面実施しました。

また、本研究所職員の意識改革も大きな課題でした。そのため、研究所職員研修や各種会議等の機会に、独立行政法人としての本研究所の使命や役割について趣旨の徹底を図るとともに、本研究所のミッション（使命）及びビジョン（改革・改善の方向性）を策定しました。さらに、研究活動、研修事業、教育相談活動、情報普及活動、国際交流活動、筑波大学附属久里浜養護学校との相互協力など本研究所の業務全般にわたる質の向上を図るための様々な改善を行いました。

この4年間は、私にとっても職員にとっても決して平坦な道のりではありませんでした。幸い全職員の理解・協力の下に、独立行政法人としての基盤づくりができたと考えております。しかし、平成18年度から始まる次の中期目標期間を控えて、業務全般にわたる厳しい見直しの作業が既に始まっています。本研究所職員がこの作業に一丸となって取り組むことを期待するとともに、関係各位の一層のご理解・ご支援をお願いして、退職のあいさつといたします。この4年間、ありがとうございました。